



平成31年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年9月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 精養軒

コード番号 9734 URL <http://www.seiyoken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 裕

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 清田 祐司

TEL 03-3821-2181

四半期報告書提出予定日 平成30年9月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成31年1月期第2四半期の業績(平成30年2月1日～平成30年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年1月期第2四半期	1,720	5.9	84	—	93	—	71	△10.3
30年1月期第2四半期	1,625	4.3	△18	—	△9	—	79	217.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年1月期第2四半期	27.23	—
30年1月期第2四半期	30.36	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年1月期第2四半期	6,866	3,405	49.6	1,309.19
30年1月期	4,506	3,383	75.1	1,300.70

(参考)自己資本 31年1月期第2四半期 3,405百万円 30年1月期 3,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年1月期	—	0.00	—	3.00	3.00
31年1月期	—	0.00	—	—	—
31年1月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点において平成31年1月期の配当予想については、中間配当金は無配、期末配当金は未定であります。

3. 平成31年1月期の業績予想(平成30年2月1日～平成31年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,350	3.1	70	—	88	735.3	40	△60.7	15.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年1月期2Q	2,628,000 株	30年1月期	2,628,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年1月期2Q	27,324 株	30年1月期	27,324 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年1月期2Q	2,600,676 株	30年1月期2Q	2,600,716 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、輸出や生産活動に加え、個人消費が持ち直し、緩やかに回復いたしました。

飲食業界におきましては、雇用や所得環境の改善、訪日外国人の増加、企業業績の改善による法人需要の安定など堅調に推移しています。一方で、今夏の猛暑など異常気象による売上への影響、原材料価格の高騰、人手不足による人件費負担の増加など厳しい環境要因が顕在化しています。

このような情勢下、当社は、更なる営業力の強化、業務の効率化、人材育成に注力して参りました。営業面においては、平成29年4月にオープンした「東京都美術館店」が通年に亘り本格稼働し業績に寄与しました。また、地元エリアを中心とした新規取引の獲得を推進し、全店舗が課題の克服に挑戦しつつ、業績改善に努めて参りました。また、本年2月以降、六本木に所有する不動産の有効活用がスタートし、収益向上に貢献いたしました。業務の効率化においては、特に人員の効率化を徹底、また、様々な社内システムの改革を進めながら人材育成の強化に取り組んで参りました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,720百万円（前年同期比5.9%増）となりました。営業利益は84百万円（前年同期は営業損失18百万円）、経常利益は93百万円（前年同期は経常損失9百万円）、四半期純利益は71百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比べ2,361百万円増加し6,866百万円となりました。流動資産は2,339百万円増加の4,876百万円、固定資産は21百万円増加の1,991百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が2,701百万円増加したことによるものです。

固定資産の増加の主な要因は、投資有価証券が45百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末と比べ2,338百万円増加し、3,461百万円となりました。流動負債は72百万円増加の401百万円、固定負債は2,266百万円増加の3,061百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、前受収益が73百万円増加したことによるものです。

固定負債の増加の主な要因は、長期前受収益が2,311百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は前事業年度末と比べ22百万円増加し3,405百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益の計上等で利益剰余金が63百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が41百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期個別累計期間の業績予想値と実績値との差異については、平成30年9月7日公表の「平成31年1月期第2四半期個別累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、平成31年1月期通期個別業績の予想値につきましては、修正はありません。ただし、他の要因も含め精査の上、修正する必要が生じた場合には速やかにお知らせ致します。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年1月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,929,759	4,631,255
売掛金	97,626	72,462
有価証券	400,103	100,034
たな卸資産	34,071	35,244
その他	75,250	36,890
貸倒引当金	△400	△250
流動資産合計	2,536,410	4,875,634
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	445,168	426,069
土地	603,188	603,188
その他（純額）	84,560	77,394
有形固定資産合計	1,132,916	1,106,651
無形固定資産	3,455	2,794
投資その他の資産		
投資有価証券	777,032	821,777
その他	55,816	59,348
投資その他の資産合計	832,848	881,125
固定資産合計	1,969,218	1,990,571
資産合計	4,505,628	6,866,205
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,370	63,079
未払金	115,988	96,180
未払費用	50,189	61,146
未払法人税等	14,944	12,085
前受収益	-	72,647
賞与引当金	29,000	30,000
その他	57,680	65,517
流動負債合計	328,170	400,654
固定負債		
退職給付引当金	500,035	497,443
役員退職慰労引当金	124,517	98,824
繰延税金負債	158,489	143,406
長期前受収益	-	2,310,653
その他	11,716	10,434
固定負債合計	794,757	3,060,760
負債合計	1,122,927	3,461,414

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年1月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	131,400	131,400
資本剰余金	4,330	4,330
利益剰余金	2,860,472	2,923,475
自己株式	△20,602	△20,602
株主資本合計	2,975,600	3,038,604
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	407,101	366,187
評価・換算差額等合計	407,101	366,187
純資産合計	3,382,701	3,404,791
負債純資産合計	4,505,628	6,866,205

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年7月31日)
売上高	1,624,908	1,720,154
売上原価	653,581	693,399
売上総利益	971,327	1,026,754
販売費及び一般管理費	989,463	942,542
営業利益又は営業損失(△)	△18,136	84,212
営業外収益		
受取利息	508	488
受取配当金	5,287	5,417
雑収入	3,187	2,811
営業外収益合計	8,982	8,716
経常利益又は経常損失(△)	△9,154	92,928
特別利益		
投資有価証券清算益	94,952	-
特別利益合計	94,952	-
特別損失		
固定資産除却損	-	16,782
減損損失	4,900	-
特別損失合計	4,900	16,782
税引前四半期純利益	80,898	76,145
法人税、住民税及び事業税	1,950	5,340
法人税等合計	1,950	5,340
四半期純利益	78,948	70,805

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。